

TSUKUBA SUPER SCIENCE CITY INITIATIVE

— つくばスーパーサイエンスシティ構想 —



スーパーシティ型国家戦略特区とは

日本では、「世界で一番ビジネスをしやすい環境」を作ることを中心に、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の緩和や税制の優遇を行う国家戦略特区を指定しています。そのなかでも、大胆な規制改革と併せ、データ連携基盤を活用して複数分野の先端サービスを提供する「スーパーシティ型国家戦略特区」を設け、2022年4月に茨城県つくば市、大阪府大阪市を指定しました。

WEBSITE



科学で新たな選択肢を、 人々に多様な幸せを

日本最大の科学技術都市であるつくば市は、社会全体が一人ひとりを包み込み、支え合う「誰一人取り残さない」SDGsの精神の下で、世界最高峰の科学技術を結集し、デジタル、ロボティクス等の最先端技術の社会実装と都市機能の最適化を進めています。

住民参加を基盤とし、住民と住民、住民と行政のつながりを深化しつつ、出口の見えない社会課題の克服や革新的な暮らしやすさを実現する住民中心のスーパーシティを目指しています。

つくば市の概要



- ・人口 250,000人
- ・研究者 20,000人
(うち博士号 8,000人)
- ・150の研究機関・大学
- ・外国人人口 12,000人
(約150カ国)

先端技術を活用してサービスを提供する6つの分野

モビリティ・物流



- (1) パーソナルモビリティ・ロボットの本格導入
- (2) 郊外部の移動手段の確保
- (3) ロボット・ドローンによる荷物の自動配送

行政



- (1) インターネット投票
- (2) 多言語ポータルアプリ
- (3) 行政手続DX
- (4) 行政ビッグデータの活用

医療・健康



- (1) 医療・介護・服薬のデータ連携による健康・医療サービス
- (2) 救急医療体制の充実
- (3) 個人への健康関連データの還元

防災・インフラ・防犯



- (1) 迅速な避難誘導と医療連携
- (2) 効率的なインフラ・エネルギーマネジメント
- (3) 地域防犯情報ネットワーク

デジタルツイン



- (1) 先進的3Dデジタル基盤の構築
- (2) マップ・地理情報・BIMデータ等の活用

オープンハブ

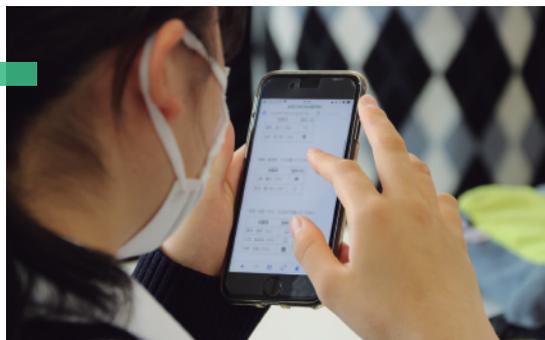


- (1) 外国人の起業支援
- (2) 調達手続きの簡素化

MAJOR PROJECTS

インターネット投票

マイナンバーカードやブロックチェーン技術等による厳正な個人認証と高度なセキュリティを実装し、いつでもどこからでも選挙ができるインターネット投票の公職選挙への導入を目指しています。これにより、高齢や障がいを抱える人など移動に困難を抱える人の投票率の向上が期待できます。



自動配送ロボットによる配送



スマホアプリから注文した商品を自宅まで届けてくれる自動配送ロボットを導入します。これにより、子育て世代や障害者、高齢者等の日常生活の利便性の向上を目指しています。

分身ロボット

ロボットによる障害者の社会参画支援



心身の障がいにより外出が困難で企業等に就労できない人がいます。そこで、遠隔操作で仕事ができるロボットを導入します。障害者が就労しやすい環境を整備し、社会参画の機会の拡大を目指しています。

学校での体調管理のデジタル化

体調管理をスマートフォンのアプリでデジタル化し、併せて連絡帳機能を付けることで、学校における先生の手間を減らすことができます。また、COVID-19をはじめ感染症拡大の兆候をいち早く察知することができ、超初期段階での予防策を講じることができるようになることを目指しています。

詳細はこちらから



つくば市
スーパーシティ構想
PR ムービー



つくば市 政策イノベーション部
科学技術 戦略課
E-mail: sts00@city.tsukuba.lg.jp

WEBSITE

